

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人とそのご家族が地域で安心して豊かに暮らしていけるように、ご家族や学校、行政等の関係機関と連携・協働しながら施設を運営していきます。 ・子どもたちが「安心してのびのび過ごせる場所」を提供していきます。 ・子どもたちの「楽しい、うれしいという気持ち」「その子らしさ」を大切にしながら自己肯定感を育み、自らの意志で「やりたいこと」を選択し、生きる力を育むことを目指します。 		
支援方針	<p><本人支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものなかで、今、どんな力が伸びようとしているのか、その子どもが何に（どんなふう）になりたいか、どんな力や、方向性をもっているのか、何が好んで、どんなものに惹かれてしまうのか、一人ひとりの子どもの特性と発達や希望、成長の道すじを理解したうえで、子どもの発達の可能性を実現するための具体的な目標や方法を探り、計画をたて支援していきます。 ・「あそび」「様々な活動」「生活体験」を通して、5領域の視点を大切にしながら子どもたちの発達を促していきます。また何かを「させる」のではなく、子どもが自ら「したくなるような」支援をしていきます。 ・あそび、様々な活動を楽しみ、挑戦し、失敗したり成功したりする体験を通して、自分の周囲の様々な人、もの、ことと出会い、相互干渉しながら大人になるための力を身につけていけるよう支援していきます。 ・支援者は、子どもたちと同じ目線に立ち、あそびや生活体験を共に楽しみ、様々な活動を通して、喜びや悲しみ、悔しさを共有することで、人と人との「つながり」というコミュニケーションを育み、生きる力や周囲との関係性を築く力を身につけ、伸ばしていけるよう支援していきます。 ・子どもがより良く生きていくために必要なスキルを「その子らしさ」がいきいきと発揮されるようなやり方で、獲得していけるよう支援していきます。 ・「自立支援と日常生活の充実のための活動」、「多様なあそびや体験活動」、「地域交流の活動」及び「子どもが主体的に参画できる活動」の4つの基本活動を複数組み合わせながら、一人ひとりの子どもの特性に応じた支援を行っていきます。 <p><家族支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の抱える背景を知り、心情を察し共感的、受容的に接することで信頼される関係を築けるよう努力していきます。 <p><地域支援・地域連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが日々、安心して自立をめざしていけるよう、家庭、学校、関係機関が連携し、必要な支援目標を共有し協力していくことで、切れ目のない継続した支援ができるよう努めてまいります。 		
営業時間	月～金曜日 10 時 00 分から 17 時 30 分まで <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>送迎実施の有無</td> <td>あり</td> </tr> </table> （ご希望に添えない場合もございます）	送迎実施の有無	あり
送迎実施の有無	あり		
支 援 内 容			
健康・生活	<p>心身の健康状態の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの体調について意識づけを行い、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を子ども自身で送れるよう支援いたします。また障がいの特性や発達の過程に配慮し日々体調観察等を行います。（毎日の検温・感染予防に配慮・AED対応等） <p>健康の増進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【ダンスタイム】【体であそび】などの活動やホール、外あそびなどを通して、身体を動かしたり、体力の維持向上、何より「運動が楽しい」と思えるよう支援していきます。また健康な生活の基本となる体づくりも行います。（活動例：鬼ごっこ・三輪車・スクーター・タイヤ渡り・坂のぼり 等） ・食材や調理に興味を持ってもらえるよう支援いたします。（活動例：【自然とあそび】の活動の中で野菜や果物を栽培し、収穫し【おやつ作り】で調理して食べます） <p>基本生活スキルの獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身辺処理（食事・排泄・靴や衣服の用意や着脱・手の洗い方・荷物の整理や管理など）を子どもの発達に合わせ実施し、習慣化できるよう支援していきます。 ・日常生活の中で、整理整頓（お片付け）の習慣がつけられるよう、個人用ロッカーを設置したり、玩具置き場には写真を貼りつけて物の把握を行えるようにしています。（活動例：【びびかタイム】の活動を通して、整理整頓やお掃除を行っています） <p>構造化等により生活環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別・集団活動等、様々なあそびや体験を通して、全体の状況、流れを学ぶことができるよう環境を整える支援を行います。 ・一人ひとりの子どもの特性にあわせ、一日の流れや、様々な活動、あそびの説明など本人が理解できるよう、タイミングや状況（全体像）を「見える化」し、「何がどこにあるのか」「どこで何をやるのか」など分かりやすく構造化の支援をしていきます。 		
運動・感覚	<p>姿勢と運動・動作の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【ダンスタイム】や【体であそび】など体を使う活動を通して、身体機能の維持・向上を図ります。 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動機能の観察を行い必要に応じて個別支援として支援を行います。（例：挨拶時の姿勢・靴のぬぎはき・手洗い・排泄・食事 等） ・個別・集団活動のなかで、椅子や机を用い支援を行い、正しい姿勢の習得を目指します。（活動例：【読書タイム】や一人ひとりの子どもが集中できるツールを用いて自然と「座る」が行えるように支援いたします） <p>補助的な手段の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが使用しているメガネや補聴器、食事においてはスプーンやフォーク、お箸など各種の補助ツールを効果的に活用できるよう支援いたします。 <p>保有する感覚の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あそびや活動を通して、本人が主体的に「やってみよう」と思うことを行うなかで、成功体験を重ねながら感覚統合の機能の発達を促していきます。 ・リズムに合わせた運動や感覚刺激を取り入れられるように支援していきます。（活動例：【音楽療法】「ミュージックケア」【ダンスタイム】【体であそび】等の活動を通して視覚、聴覚、触覚に働きかけます） ・五感を最大限活かすことができるよう、あそびや様々な活動などを通して支援していきます。 ・【ダンスタイム】【体であそび】（縄跳び・バランスボール・トランポリンなどの粗大運動）等の活動を通して、バランス感覚や、体の使い方や強弱方向、緊張・弛緩の感覚などを育めるよう支援していきます。 ・五感で楽しめる季節に応じた【創作活動】（ハサミやのり、パンなどを使つての微細運動など）を通して基本的な「感覚」を自身で感じられるように支援していきます。 <p>感覚の特性への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが持つ感覚の過敏さや鈍感さを理解し、それに合わせて環境を調整したり、イヤーマフなどを使用したり適切な支援を行っていきます。 		
本人支援	<p>認知の発達と行動の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもの特性に応じた、五感を十分に活用して必要な情報を収集しやすいように、色や形（絵や文字）、道具、音や声、香りや味、触り心地や温度が直接分かるように認知機能の発達を促すことができる支援を、様々な活動やあそびを通して行っていきます。 ・個別・集団活動のなかで活動内容（環境）から情報を取得しやすいよう、言葉だけでなく実物や絵カード、写真、手順書などを用い「見える化」するなど必要なメッセージを自ら選択し（自己決定）、行動につなげられるよう一連の認知過程の発達を支援していきます。 <p>空間・時間・数等の概念形成の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多い・少ない、大きい・小さい、長い・短い、色の違い、時間などの概念が「目で見て理解できる」具体的な対象物を用いて支援していきます。（例：おもちゃの数、ボールの大小、紐（創作活動の中で使う毛糸や、テープなど）の長さなどの視覚的要素からも概念形成を促していきます） ・（例：スケジュールボード、タイマーの活用などで活動の切りかえを、視覚と聴覚にて促していきます） ・（例：ブロックあそびやボール転がしなどで空間把握に関する認知の形成を促していきます） <p>認知の偏りへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードや写真、スケジュール表などを用いて、自身で理解できる情報を適切に処理し（促し）、自身で選択できる環境を整えて一人ひとりの子どもの特性に配慮し支援していきます。 ・おやつ提供、【おやつ作り】などの活動を通して、こだわりや偏食についても部分的にでも「たべてみようかなあ」と自ら解除できるよう支援していきます。 		

言語 コミュニケーション	<p>言語形成と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> *一人ひとりの子どもの特性に合わせて、具体的な物や体験と言葉を結びつけることができるように「見える化」したり、職員が代弁してその事実を声や言葉、音として覚えられるように支援し、体系的な言語の習得、自発的な発言を促す支援を行います。 *自分の考えを伝えたり、人の意見を聞き入れて相手の意図を理解するなど、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得を目指していきます。 *言葉になりきらない思いを大人が受け止め言語化し、自分の感情と言葉が一致していくように育んでいきます。 <p>言語の受容及び表出</p> <ul style="list-style-type: none"> *様々な活動やあそびを通して、「楽しい」「うれしい」という気持ちを職員やお友達と共有することで、人への興味関心が高まり自ら伝えたい、発信したいと思えるような関係性を築いていきます。 <p>人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> *「人（お友達、職員など）と一緒に何かをするって楽しい、おもしろい」と実感することがコミュニケーション行動を引き出すための土台になります。そのために身につけたい基礎的な力「気づく力」「共同注視」「要求行動」「見分ける、聞き分ける」「模倣する力」などを、あそびや様々な活動を通して育んでいきます。 *あそびや活動を通して、お友達と一緒に協力したり、作戦を考えたりするなかで、コミュニケーションをとる楽しさへの気づきを促していきます。 <p>指差し・身振り・サイン等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> *子どもが周囲の状況を理解したり、自分の意思を伝えたりできるように、指さしや身振り、サインなどの非言語的なコミュニケーション手段を使うように支援していきます。 <p>読み書き能力の向上のための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> *あそびの中で、文字を読んだり書いたりする機会をつくっていきます。知育玩具、教材等を用いて一人ひとりの発達に合わせた支援を行います。 <p>コミュニケーション機器の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> *子どもが周りの状況を理解したり、自分の気持ちを伝えたりすることをスムーズに行えるよう、文字や記号、絵カード、機器など様々なコミュニケーション手段を適切に選び使えるように支援していきます。 		
人間関係 社会性	<p>アタッチメントの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> *話す、聞く、触れるなどのコミュニケーションを通して、人との関係を意識し、身近な人との関係を築き、その信頼関係を基盤として、子どもの感情や不安に寄り添い、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 *ありのままの姿を認め、人と関わる心地よさの獲得を目指していきます。 <p>自己の理解とコントロールのための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> *職員は子どもの特性を理解し、一人ひとりに合わせた声掛け支援、行動支援を行います。 *自身の行動（自分のできる、できない等）の行動の特徴を理解し、気持ちや感情の調整ができるように支援していきます。 <p>集団への参加と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> *一人ひとりの子どもの特性を理解して、状況や状態に合わせて集団活動への参加を促していきます。 *相手の気持ちや状況の理解が円滑に行えるように、職員が仲立ちとなり代弁して相互理解が図れるように支援していきます。 *あそびや集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、協調したり関わりを持てるように支援していきます。（役割分担のあるあそび、協同あそび等） *ルールのあるあそびのなかで、お友達と協力するおもしろさの体験を行います。 *人との適正な距離感を把握できるように、適宜声かけを行い、人との良好な関係形成を支援していきます。 *あいさつが自然にできるように支援していきます。 *活動のなかで、地域のイベントに参加したり、地域との交流を行っていきます。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> *施設や学校での子どもの様子を保護者にお伝えしていきます。 *年2回（6月・12月）保護者面談を行い、保護者と連携して今後の支援に取り組んでいきます。 *相談支援事業所等と連携し、子ども本人やご家族に必要なサービスを考えつなげていきます。 *関係者、関係機関との連携による支援体制を構築していきます。 *学校公開週間や学校行事等に参加することで、施設外での様子を把握し、必要に応じて学校での生活がしやすくなるよう支援していきます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> *一人ひとりの子どものベースやライフステージに合わせて支援をすることはもちろん、保護者や教育機関との連携を図り、個々の課題を具体的に把握し、支援を行っていきます。 *一人ひとりの子どもの特性や、発達に応じた具体的な移行を想定し、保護者の意向確認や状況共有を行います。 *他関連機関との連携による支援体制を構築していきます。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> *地域の公共施設を利用し、地域資源を活用していきます。 *学校との連携会議や、福祉サービス等との担当者会議を行い、本人支援や家族支援につながる情報を共有していきます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> *内部研修・外部研修等を通して、子どもの発達、特性に応じた対応などを学び、職員の資質向上に努めていきます。 *委員会（虐待防止・身体拘束適正化・感染症対策・災害対策等）の研修と訓練の実施。 *毎日のミーティング（前日の振り返り、当日の予定確認等）や、職員ミーティングの開催。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> *春…卒業祝う会、ひな祭り、入学・進級のお祝い、こどもの日 *夏…七夕会、地域交流（市民センターとの交流）、夏まつり *秋…ミニ運動会、ハロウィン、カラオケ大会、さつまいも掘り *冬…クリスマス会（保護者交流）、お正月あそび、節分、地域交流（施設見学） 		

【参考資料】

放課後等デイサービス リトル・ピース 4月の活動予定表

月	火	水	木	金
		1 体であそぼ 	2 おやつ作り 	3 音楽あそび 
6 読書タイム 	7 何してあそぶ? 	8 チャレンジタイム 	9 「？」	10 自然とあそぼ 
13 ダンスタイム 	14 音楽あそび 	15 創作活動 	16 創作活動 	17 体であそぼ 
20 体であそぼ 	21 自然とあそぼ 	22 おやつ作り 	23 ダンスタイム 	24 読書タイム 
27 チャレンジタイム 	28 何してあそぶ? 	29 昭和の日	30 ぴかぴかタイム 	

【活動内容】

- ☆チャレンジタイム…楽しく生活するためのスキルを学ぶ時間です
- ☆ダンスタイム…みんなで好きな曲を選んで踊ったり、振り付けを考えたり、楽しくダンスをします
- ☆創作活動…季節を感じ、色々な素材や道具を使って創作を楽しみます
- ☆何してあそぶ?…好きなあそび、やりたいことを選択してあそびます
- ☆おやつ作り…リトピー畑で作った野菜や果物を使っておやつを作ったり、季節を意識した簡単なおやつ作りを楽しみます
- ☆読書タイム…季節を意識した絵本や紙芝居の読み聞かせなどを楽しみます
- ☆音楽あそび…色々な楽器や道具を使って音楽を楽しみます
- ☆体であそぼ…外(園庭)やホールで楽しく体を動かして楽しめます(色々な用具を使用します)
- ☆自然とあそび…野菜作りや、植物に触れながら、季節を意識した自然あそびを楽しみます
- ☆ぴかぴかタイム…普段使っている物の整理整頓や掃除に取り組みます
- ☆「？」…何をするのかお楽しみ。季節を意識した活動を行います